

# 第二言語における音声の習得 一年間の研究成果をまとめて

日時：2019年7月25日（木）15:10～17:00

場所：神戸大学 国際文化学研究科 学術交流ルーム (E410)

講師：ALBIN Aaron（神戸大学国際文化学研究科講師）

## 報告内容

2018年8月から現在に至るまで、アルビン研究室から出た研究成果を15件ほどまとめることを通じ、発音の習得についてどのような新しい知見が得られたかについて報告します。研究の中心的なテーマは「日本語の韻律」と「イントネーションの定量モデル化」、「方法や理論の改善」などです。なるべく多くの方にご理解いただけるよう解説します。

## 報告者プロフィール

2015年にインディアナ大学で博士課程を修了後、2016年までペンシルベニア州立大学でポスドク（研究員）を務めた。2016年10月から本研究科に着任し、一般言語学や第二言語における発音習得、イントネーションの音韻論、言語データの計量分析といった内容の授業を担当している。

主催：テニュアトラック教員（アルビン講師）育成グループ

協力：国際文化学研究推進センター（Promis）

問い合わせ先：藤濤文子（国際文化学研究科） [fumiko\[at\]kobe-u.ac.jp](mailto:fumiko[at]kobe-u.ac.jp)